

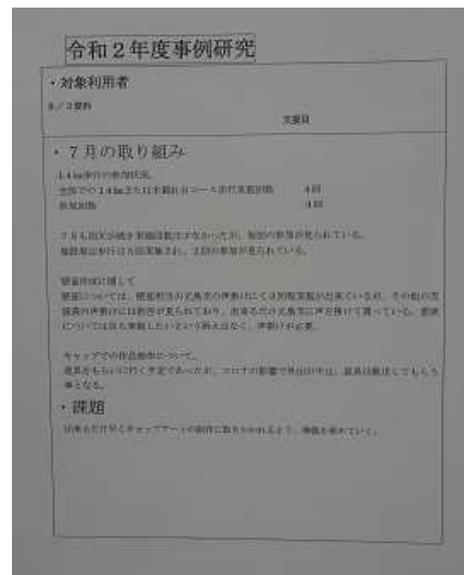
21. 本当の思い・・・

(事例研究)

月に1回事例研究として苓山寮、第二苓山寮からそれぞれ一人の利用者について、1年間をかけて各職員8名で、その利用者さんの課題を解決するためにはどうしたらよいか、話し合いを行っています。

- ・利用者さんの特性を知る。
- ・課題を明らかにする。
- ・ニーズやストレングスを知る。

このような段階を踏んで色々な支援のアイデアを出し合い試していく間には、利用者さんの意外な一面が見えてきたりします。1年間の取組は年度末にまとめて発表し、数年に一度は天草地区研修会でも発表しています。この取組は平成17年度から続けていますが、利用者さんのQOLの向上と支援員のスキルアップ、施設全体の支援力向上に大きく寄与しています。これからも「少しでも利用者さんの思いに近づき、楽しく生活してもらえないか」という気持ちを持って続けて行きます。



22. ～ 新たなる挑戦 経過報告 ～



《 Challenge to ^{ゼロ}0 パート2 》

4月

2020年4月より始めましたこの企画『チャレンジ To 0!』

海が綺麗、山が綺麗そんな天草にゴミをなくそうと地域活動委員会が

年6回のグリーンクリーン活動とは別に毎月1回実施継続中、今月で5回目の実施となりました。その場所とゴミ総重量の経過をまとめました。

チャレンジした回、日		私たちがキレイにしたい天草	ゴミ総重量
第1回目	4月20日	茂木根海水浴場と五和町二江通詞島公園	28.5 Kg
第2回目	5月	雨天中止	0 Kg
第3回目	6月15日	鬼池港と海鮮蔵前海岸	55.7 Kg
第4回目	7月20日	崎津天主堂近辺と白鶴ヶ浜海水浴場	12.2 Kg
第5回目	8月3日	栖本港と倉岳えびす公園	15.0 Kg
計			111.4 Kg

利用者の皆さんもユニホームのビブスを着用すると目の色が変わり、「自分達の故郷を守る」「少しでもゴミを減らす」「0への挑戦」を目標に汗を流されています。天草の自然を見て感じてもらっていますし、実施日が来るのをとても楽しみにしておられます。

私達の挑戦は続きます。



6月



7月



8月

23. ストレスと向き合う

世界中の国の方と比べると日本人はストレスを多く抱えていると言われています。全員ではないと思いますが私たち職員も多少なりともストレスを持っていると思います。

その少しのストレスが溜まって行くと、どんどん膨れ上がり病気をわずらったり、仕事にも集中できず利用者の皆さんの支援にも迷惑をかけるおそれがでてきます。私たち職員も自分のストレスがどの程度のものなのか自身で把握し向き合うことが大切なことだと感じています。

『私のストレス解消法』の紹介は、職員にメンタルヘルス活動を推進している衛生委員会の取組の一つです。シリーズ化し、職員一人ひとりのストレス解消法をパネル化し廊下へ掲示してあります。映画や音楽、運動や飲み物、温泉巡り等それぞれの職員自身の解消法がありとても興味深く、現在は第10弾まで紹介してあり好評です。

職員には年に2度のストレスチェックに合わせ、溜まったり、解消したりする自分自身のストレスとは上手く付き合って行って欲しいです。



『天草の温泉巡り』～日帰り温泉ランキング

- 1位：ペルラの湯船（天草市：ホテルレグリアガーデンズ天草）
- 2位：大洞窟の宿 湯楽亭（上天草市大矢野町）
- 3位：さざ波の湯（天草市有明町）
- 4位：二股炭酸カルシューム温泉ユメール（天草市五和町二江通祠）
- 5位：ホテル松泉閣 ろまん館（上天草市松島町合津）
- 6位：湯本の荘 夢ほたる（天草市天草町下田北）
- 7位：望洋閣（天草市天草町下田北）



24. ～ 給食と笑顔と ～

利用者の皆さんが毎日楽しみにされている給食。苓山寮と第二苓山寮、職員を合わせると年間10万食程も提食しています。

厨房スタッフ一同、栄養管理、美味しく楽しい食事の提食と同じくらい厨房内の食器や機器の清潔にも気にかけています。毎日の清掃、消毒はもちろん実施しています。

今回は年2回見えないところ、手の届かないところ等の大掃除を実施しました。フロアの清掃、消毒やファンやコンロ回りの機器分解清掃、調理機器の消毒、油汚れや隅に残っているこびりついた汚れなど普段できないところを重点的に行い、キレイになりました。

本日の給食メニューは、災害時備蓄品の消費期限入れ替えに伴う、カップラーメンを提食です。意外と利用者の皆さん喜ばれます。



コロナ渦の中、給食から笑顔にできるようスタッフ一同取り組んでおります。



25. ～ また来てね！ ～

移動美容室「メッセンジャー」さんは毎月散髪に来てくださいます。馴染みの車がホール前に近づくと利用者の皆さん窓から手を振ったりしてとても喜ばれます。

車椅子の方も男性も女性も第二苓山寮の方も希望があれば快く対応してくださり、好きな髪型にカットしてくださいます。

特に女性の方は「こうして切ってもらおう」「髪の毛すから今回は切らない」「どう？短く切ってもらった」「あーさっぱりした」等来ていただく前日や散髪日には友達や職員へよく話されています。カットして下さる美容師さん（2名）も利用者の皆さんの名前を覚えてくださり、とても丁寧に話しかけてくださいます。これも散髪の楽しみの一つだと思います。

もう苓山寮に来ていただいて19年目になります。とてもありがたいです。もちろん、町の床屋に散髪に行かれる利用者の方もいます。好きな床屋で好きな髪型でオシャレを楽しんでいただきたいです。





26. ～ おめでとーう！ ～

「グループホームはちまん」は女性4人で共同生活してます。仕事や生活介護を受けたりして帰宅時間や休日等もバラバラなのですが、それぞれの誕生日の時は世話人の方に協力していただきみんなでお祝いをします。

テーブルに並べられた手作りのご馳走やケーキを目の前に

「おめでとうカンパニー」！！

はちまんで生活して9年目になりますが開設当初からずーと一緒の3人と7年目の方1人です。おめでとう、思い出と、よろしくねが重なり合う笑い声にまた一つ新しい思い出が増えた誕生日会でした。



27. ～ 人生の先輩に ～

9月17日敬老会

歳をとると歳を重ねるごとにマイナスのイメージを持つ方が多いかもしれません。「高齢化」「少子化」「アラフォー」や「第二の人生」等の言葉も、聞く方によっては快く思わない方もおられるのでは・・・。

そんな中、今回の敬老会でもたくさんの人生の先輩方を敬いました。皆で歌ったり、踊ったり、一人ひとりにプレゼントがあったり、職員からも「マツケンサンバ」と「よさこいソーラン節」のパフォーマンス、「津軽三味線の演奏」でお祝いすることができました。若い方も敬老の方も関係なく全員笑顔になった一日でした。

人生を重ねる、重ねられる喜びを共感していけたらと思います。



28. 理念を据えて

『 明るく 素直に 仲良く 』



施設の玄関に入られる前に、まず私たちの理念を掲げた石碑がお客様をお出迎えします。

この理念を基に方針が示され、私たちは年度目標や利用者皆さんの生活目標、個別支援計画等、各計画を立て実施しています。

方針：「利用者、地域及び職員の幸福をともに追求する」

- ・中長期計画に基づき適切な財務管理による安定的な経営を目指す。
- ・利用者の社会適応能力を伸ばし、心身ともに安定した生活を送ることを目標として、意思決定支援を中心に据え、利用者のニーズ、ストレングスの把握に努め、それを活かした支援をする。
- ・職員は常に自己研鑽を行い、高い専門性と倫理性を身につける。
- ・施設は将来を展望した人材確保、育成計画を実施し、プロ集団としての職員のレベル向上を目指す。
- ・障害者支援施設としての特性を活かした地域社会への貢献を行い、開かれた施設を目指す。
- ・コンプライアンス（法令遵守）を徹底し、虐待防止、意思決定支援に努め、情報公開を促進する。
- ・非常時に備えるとともに、利用者が安心・安全に日常生活を送れるよう配慮する。



この方針を踏まえ、私たち職員一人ひとりがこの理念石碑のように、地に足をつけた支援で、利用者の皆さんの安心、安全の生活をサポートし、さらに社会福祉法人としての任命を全うしていきたいです。



29. 願い、思いを込めて



～ 各 班 外 出 ～

9月末、熊本県でもコロナ警戒レベルが4から2へ引き下げられました。それに合わせ施設でも外出が緩和され、各班外出の計画が立てられました。が、翌週にはまたまたレベルが3に引き上げられ、立てられた計画をどうするのか？大丈夫なのか？課長会議で協議されました。結果、現在提出されている外出計画の昼食はテイクアウト（本当はお店での食事の予定でしたが・・・）し、公園や外の広い場所で食事するという条件で実施するようになりました。

各班、有明の海岸や大島子諏訪神社、倉岳町のえびす像、鬼池港、天草町子守歌公園、十万山展望台などコロナ禍の中、最大限利用者の皆さんが楽しめる工夫を凝らし計画を立て実施してきました。幸い天気が良くドライブ日和。天草の潮風と山の心地よい風の中、清々しい空気に大満足、「行ってきたよー」「楽しかったよー」と教えて下さいました。

大島子諏訪神社に行った班は、アマビエ様に「コロナウイルスの疫病退散」を願い、早く元の生活に戻れるよう皆でお祈りしてきたそうです。





30. 秋を 食べて、飲んで、歌い踊り、にぎわって

10月23日、前日の雨も嘘のような秋晴れでした。

例年は啓明会秋祭りとして家族の方や地域の皆様もお誘いし開催していましたが、コロナ禍と言うことで施設内だけで「琴秋祭」の実施となりました。



今年は利用者の皆さんを中心に季節感を出し、たくさんの催し物で日頃のストレス解消をしていただきました。 利用者の皆さんの笑顔(^v^)に我々職員も救われる思いがいたしました。